

中国映画にかんするオンライン・データベースについて

その他のタイトル	中国?影的网上?料?
著者	菅原 慶乃
雑誌名	関西大学視聴覚教育
巻	29
ページ	13-24
発行年	2006-03-31
URL	http://hdl.handle.net/10112/11886

中国映画にかんする オンライン・データベースについて

菅原慶乃

1 はじめに

中国映画の情報を入手する場合、オンライン・データベースが現れる以前は、各種中国映画祭のパンフレットや中国映画史等の書籍、データブック等から情報を入手する方法が一般的だった。筆者個人の経験を振り返りつつ具体的に書名を列挙すると、まだ学部生だった頃は、石子順『中国映画の散歩道』（日中出版、1982年）、佐藤忠男・刈間文俊『上海キネマポート』（凱風社、1985年）、程季華・李少白（森川和代訳）『中国映画史』（平凡社、1987年）¹、四方田犬彦『電影風雲』（白水社、1993年）等、中国映画関連のエッセイや中国映画史、東アジア映画作家論等の書籍を利用し、情報を得ていた。1990年代の半ばを過ぎると、『中国映画の全貌100 1980-1995』（大映・東光徳間、1995年）『中華電影完全データブック』（『キネマ旬報』臨時増刊号、1997年11月11日号、no.1239）等、日本語による東アジア中華圏映画専門のデータブックが発行された。中国語がある程度読めるようになった後は、1981年以降ほぼ毎年発行されている『中国電影年鑑』（中国電影出版社）や、年代別に編まれた『中国影片大典』²（中国電影出版社）、『中国電影大辞典』（上海辞書出版社、1995年）等を利用した。

しかし中国の映画産業の発展は目覚ましく、紙媒体による情報伝達ではそのスピードに追いつかない事も多い。また、1990年代以降急速に高まった中国のインディペンダント映画にかんする情報は、中国の公的な機関が発行するデータブック類に掲載されることは無い。中国における「独立制片（インディペンダント映画の意味）」は、メジャー系映画会社から離れ小規模で制作される映画を意味する一般的な「インディペンダント」の意味とは異なる。中国において映画は、建前上は現在にいたるまで、中国共産党宣伝部広播電影電視総局の管理を受けるべき、党の「宣伝工具」である。1980年代までは、映画監督をはじめとする映画人の多くが、映画制作権を持つ国営や省が経営する「電影製片廠」（映画撮影所に相当）に所属し、映画は電影製片廠で撮影された。そして、各廠内及び広播電影電視総局の検閲をクリアした作品のみ公開が許されていた。1990年代になると、電影製片廠に所属することなく、独自に資金及び器材を調達し、個人的に映画制作をはじめめるケースが急増した。このような映画は「独立制片」または「体制外電影」³と呼ばれ、しばしば厳しい処罰を受けてきたのだった⁴。その為、1990年代半ばまでは、『北京電影学院学報』や『演芸圈』等の一部の雑誌メディアが、インディペンダント映画をあくまで「教学資料」や「映像メディア芸術」のジャンルとして取り上げる以外、入手できる情報はほとんど無かった。この状況を変えたのが、インターネットの普及だった。1990年代半ば以降、中国各地の映画ファンが、ウェブ上で中国映画のデータベースを運営し始めた事は、中国インディペンダント映画にとって幸運であった。

現在、ウェブ上には数多くの映画データベースが存在する。映画の制作年や原題等を調べるために、わざわざ図書館へ赴き、分厚いデータブックのページをめくらずとも、部屋に居ながらにして様々な映画情報を入手することが可能となった。中国映画専門のオンライン・データベースも多く運営されるようになり、映画情報を入手する際の利便性は大幅に高まった。とはいえ、中国映画の情報をオンライン・データベースから入手する際には、留意すべき点も多く残されている。本稿では、中国語または英語による検索が可能な3つのサイトを用い、同一条件で検索した結果を比較検討する事で、各オンライン・データベースの特徴と注意点について考察していきたい。

2 中国映画にかんするオンライン・データベース — 検索結果の比較 —

ここでは、中国映画の情報を有するオンライン・データベースのうち、「中文電影資料庫 Chinese Movie Database」、「中国影視資料館」、「Internet Movie Database」を取り上げ、概要を紹介した後、検索結果の実例を挙げ、その特徴と問題点を指摘したい。

2-1 「中文電影資料庫」について

中文電影資料庫 Chinese Movie Database (簡体字中国語、繁体字中国語、英語)
<http://dianying.com/>

「中文電影資料庫 Chinese Movie Database」は、1996年から運営され始めた中国語による東アジア中華圏映画オンライン・データベースの老舗サイトで、中国、台湾等に在住する有志によって運営されている。メイン・コンテンツは「華語」⁵ 映画のデータベースだが、映画評や俳優にかんする記事、各種国際映画祭紹介等幅広い情報が発信されている。なかでも、1980年代初期の中国映画界に外国の映画言語にかんする文献を大量に紹介し、中国映画の「現代化」論争の中心的人物となった周伝基による「周伝基影視講座：跟我学（周伝基映像講座：私と学ぼう）」では、豊富な図版を用い、時にクイズを交えながら、特に映画学・映像学入門者向けの文章が紹介されている⁶。

「中文電影資料庫」のデータベースは、初の中国映画『定軍山』（1905）以降現在に至るまでの、無声映画やミュージカル映画を含めた「華語」映画の情報を、映画ファンと映画に従事する専門家（原文では「専門電影工作者」）向けに発信されている。

使用可能な言語は、簡体字中国語、繁体字中国語、及び英語だが、情報量が最も充実しているのは簡体字中国語である。繁体字中国語や英語で検索しても、結果が簡体字中国語で表示されることが多い⁷。したがって本稿では、簡体字中国語による検索結果を中心に論じる。

「中文電影資料庫」は、ユーザーが情報を補充する方式が採用されている。利用者はアカウントを取得後、自由に映画情報を書き込んでいく。情報の更新速度が遅いうえ、ユーザーから補充されない情報は空白のままである。また、間違った情報が投稿された場合の対応が難しい。そのため「中文電影資料庫」では、このサイトが公的な機関によるものではないこと、データベースの情報が必ずしも正確なものではないことが明記されている。情報の正確さが保障されない事は、データベースにとって致命的な欠点だと言えるが、「中文電影資料庫」の記述に目立った間違いはほとんどない。これは、このサイトが10年近く支持され続けている一因と言えよう。

情報検索は、キーワードの入力による。作品タイトルと人物名から検索が可能である。

このデータベースにより提供される主な情報は以下の通りである。

【人物】

中国語氏名、英語氏名、フィルモグラフィー

【作品】

作品名（中国語、英語）、制作年、制作地区、上映時間、カラー・モノクロの別、フィルム規格と言語、キャストとスタッフ、あらすじ、レビュー

情報量は人物や作品によって大幅に異なる。上述したように、情報提供がない項目は空白である。作品情報のうち、制作国・地域については、監督の出身地にもとづくと思われる情報が多い。例えば、中国・香港・台湾からの出資により制作された張芸謀の『紅夢（大紅燈籠高高掛）』（1991）のページには、3つの地区名が併記されている。ところが、香港の舒淇（シュー・ケイ）の出資により中国の映画監督王小帥が「無名」という名で制作した『Frozen（極度寒冷）』（1997）の制作地区は「中国大陸」と登録されており、監督名も「王小帥」のみである。

ここで、中国インディーズを代表する監督張元⁸について、「中文電影資料庫」上で求められた情報を提示してみたい。項目「張元」に登録されている情報は以下の通りである。

表1：「中文電影資料庫」の項目「張元」に登録されている主な情報（邦題は筆者により加筆）

項 目	登録されている情報
氏名（中国語）	張元
氏名（英語）	ZHANG Yuan
フィルモグラフィー（監督）	過年回家（邦題『おかえり』）（1999）
	瘋狂英語（邦題『クレイジー・イングリッシュ』）（1998）
	東宮西宮（邦題『イーストパレス・ウェストパレス』）（1996）
	兒子（1996）
	広場（邦題『広場』）（1994）
	北京雜種（邦題『北京バスターズ』）（1993）
	媽媽（1990）
フィルモグラフィー（脚本）	東宮西宮（1996）

『緑茶』（2003）、『看上去很美』（2005）等近年の作品はまだ登録されていないが、その他の監督作品は、インディペンダント映画も含めほぼ全ての情報が掲載されている。『クレイジー・イングリッシュ』の制作年が1998年と登録されているが、中国映画は通常、検閲に通った年を制作年とするので、この作品の制作年は一般的には1999年とされる場合が多い。

一方で、張元と同時期にインディペンダント形式で記録映画制作を開始した呉文光については、

名前さえも登録されていない。他にも、近年DVDが発売された『老頭』（楊天乙、2000）等、話題を呼んでいる数々の独立系ドキュメンタリー映画についての情報も皆無である。このことから分かる通り、「中文電影資料庫」は特に1990年代後半以降の情報の追加・更新が全体として遅れている事を指摘できる。

上述したように、「中文電影資料庫」は早くから東アジア中華圏を中心とする中国映画データベースを運用してきた実績がある。特に、中国のインディペンダント映画の情報源としての存在感は大きいものがあつた。また、英語タイトルやピンイン入力による検索が可能である点は、非中国語学習者にとっても利用しやすい。しかし、情報量が相対的に少なく、また各情報のリンク機能が乏しいため、やや使いにくい点は否めない。とりわけ、「中文電影資料庫」を遙かに上回る情報量を有するサイト「中国影視資料館」が2004年に登場して以降、それらの問題点が際だつ感が否めない。

2-2 「中国影視資料館」について

「中国影視資料館」（簡体字中国語のみ）

<http://www.cnmdb.com/>

「中国影視資料館」は、2004年より運営が開始された新しいサイトである。上述したように、「中文電影資料庫」は、中国語による中国映画オンライン・データベースとして一定の地位を築いたが、近年の作品にかんしては情報の遅れが目立つ。「中国影視資料館」は、その問題点を充分カバーする情報量を持っている。このサイトも他のオンライン・データベースと同様に、ユーザー参加型であり、利用者はユーザー登録することで、既存の情報の修正や追加、新規情報の立ち上げ、掲示板の利用等が可能となる。

「中国影視資料館」が発信する映画情報は、中国映画に限定されておらず、世界各国の映画情報を広くカバーしている。中国語で外国映画の情報を収集する機会是一般に多くないといえるが、外国の映画名や人名を中国語表記する必要がある場合は利用価値が高い⁹。

メイン・コンテンツの映画データベースの他、トップページから娯楽ニュースや現在上映されている映画情報、最新の映画の予告編（オンラインで閲覧可能）、掲示板等があり、幅広いユーザーに対し十分な情報を提供している。

「中国影視資料館」の最大の特徴は、簡体字やピンイン等の中国語の基礎知識さえ持っていれば、中国語でキーワードを入力をせずとも、リンクが貼られた個所をクリックするだけで、目的とする映画の情報を探し出すことが可能である点だ。「中国影視資料館」のトップページには、テーマ別に分類された各コンテンツへのリンクが多く貼られている。「電影百年」では、中国映画と外国映画の作品情報を制作年別、制作国別等のカテゴリーから検索できる。映画俳優の情報を、氏名の頭文字や俳優の出身国ボタンをクリックするだけで得られる「明星影人」は、簡体字を読むことができれば、入力せずとも在る程度目的とする映画の情報を検索する事が可能である。なかでも「電影百年」は利用価値が高いと思われる。以下に、「電影百年」で示される主なカテゴリーについて、利用上の問題点含めて簡単に紹介し、同時に特徴と問題点を指摘したい。

【制作年別カテゴリー】

世界映画・中国映画・香港映画の3つから制作年ごとに作品検索できるカテゴリー。世界映画の情報は、ジョルジュ・メリエス『月世界旅行』の1902年から、中国映画は京劇俳優譚鑫培が立ち回りを演じた『定軍山』・『長坂坡』の1905年から、香港映画は『莊子試妻』（李民偉）が撮られた1913年¹⁰から、それぞれ1年ごとに参照可能。

香港映画の最初の項目1913年のページには、『難夫難妻』（張石川・鄭正秋）等亜細亜影戲会社の3作品が掲載されているが、これは中国映画の項目に含まれるべき情報だろう。

このサイトでは、映画の上映年を登録しているにもかかわらず、映画の制作年と公開年、DVD等のソフトの発売年との混同が多く見られる。例えば、『郵差』（何建軍、1995）の上映情報は2004年と登録されているが、そもそも『郵差』は映画館で上映されないインディペンダント映画であり、2004年というのはVCDの発売年を指している。

【制作国別カテゴリー】

世界114カ国（中国・香港・台湾含む）に分類され、それぞれ制作年の新しい順に情報が表示される。制作国・地域が複数の場合は、リンク機能を生かし、それぞれの国・地区のカテゴリーに重複して登録されている。

【言語別カテゴリー】

台詞の言語別に分類され、それぞれ制作年の新しい順に表示される。東アジア中華圏に関連の深い言語では、普通話（国語）、広東語（粵語）、台湾語（台語）の3項目が立てられている。1つの映画で複数の言語が使用されている場合、各言語の項目に重複して登録されている。例えば孝侯賢の『悲情城市（悲情城市）』（1989）は、普通話、台湾語、日本語の3つのカテゴリーに登録されている。

【ジャンル別カテゴリー】

30のジャンルに分類されている。1つの映画が複数のジャンルにまたがる場合は、各ジャンルに重複して登録されている。

クリックのみで映画情報を得ることができるのは、中国語入力環境が整っていないユーザーにとって利便性は高いが、膨大な量のページを閲覧しなければ目的とする映画情報を見つけることができないことが多い。効率よく情報を得るには、やはり簡体字中国語によるキーワード検索が望ましいと思われる。キーワード検索が対象とする項目は、作品タイトルと人物名その他、映画会社名・娯楽ニュースといった各カテゴリーであり、カテゴリーを指定しない総合検索も可能である。

「中国影視資料館」で求められる人物と作品の主な情報は以下の通りである。

【人物】

中国語氏名、英語氏名、フィルモグラフィー、関連する娯楽ニュース、受賞歴、出身校、オフィシャル・サイト等

【作品】

中国語タイトル、英語タイトル、スタッフとキャスト、上映年、制作地区、言語、カラー、音声、上映時間、ジャンル、あらすじ、制作会社、こぼれ話、劇場情報、関連する娯楽ニュース、オフィシャル・サイト等

前節で紹介した「中文電影資料庫」と比較すると、提供される項目数が圧倒的に多い事が明白だ。全ての情報が同一のページ内に表示されるのではなく、主要情報以外はリンクを辿って参照する形式である。ユーザー参加型サイトである為、情報提供がない場合は空白とされる。このため、作品や人物によって情報量に大きな差異が見られる。特に今人気の俳優にかんする情報は極めて詳細であり、身長・体重・血液型・家族構成・趣味等の情報に加え、ページを閲覧した際、俳優自身が歌う歌まで流れる仕組みになっている場合もある。

次に、前節と同様に監督張元をキーワードに検索した結果をまとめ、検討してみたい。

表2：「中国影視資料館」の項目「張元」に登録されている主な情報（邦題は筆者により加筆）

項 目	登録されている情報
氏名（中国語）	張元
氏名（英語）	登録無し
フィルモグラフィー（監督）	我愛你（2001）
	江姐（2002）
	緑茶（2003）
	東宮西宮（邦題『イーストパレス・ウェストパレス』）（1996）
	過年回家（邦題『ただいま』）（1999）
	瘋狂英語（邦題『クレイジー・イングリッシュ』）（1999）
	看上去很美（2003）
フィルモグラフィー（俳優）	我和爸爸（2003）
	緑茶（2003）
	満洲虎行動（1993）
	劇情警探（1993）
	小丑歷險記（1990）
	東陵大盜（第五集）（1988）
	東陵大盜（第三集）（1987）
	東陵大盜（第四集）（1987）
	張衡（1983）
	漂白奇遇（邦題『漂白奇遇』）（1983）
	筆中情（1982）
	大刀記（1977）

まず、張元ほどの著名な監督の英語名が登録されていない事は驚くべきである。その他、張元と同姓同名の俳優との混乱が甚だしい。表2で示した俳優出演映画のうちほとんどが別人である。

監督作品中にある『江姐』は、この作品の撮影助手を務めた張元民と張元の姓名が似ているため誤登録されたものであろう。

受賞歴の項目に情報がないのも、データベースとしては極めて残念な結果だといえる。また、2000年以前の監督作品は全く見られない。逆に、前節の「中文電影資料庫」が弱点としている近年の作品は、少なくとも2000年以降の監督作品は全て登録されている。これは、このデータベースにおける王小帥や何建軍等のインディペンダント作家達の項目に共通して言える傾向である。

2-3 Internet Movie Database

Internet Movie Database (IMDb)

<http://www.imdb.com/>

Internet Movie Database は、世界で最も大きな規模を誇る映画データベースサイトの一つであり、1990年から運営されている。メイン・コンテンツは世界中の映画の情報を発信するデータベースだが、他にも映画やテレビに関する報道、DVDとビデオ情報、アメリカの映画上映情報、掲示板等のコンテンツを持つ。なお、Internet Movie Database には有料版もあるが、ここでは会員登録せずに閲覧可能な通常版について記述する。

中国映画の情報を得るために、英語による映画データベースを利用するというのは不思議な方法かもしれない。1990年代中頃までは中国語による中国映画専門の映画データベースサイトは存在しなかったため、オンライン上で中国のインディペンダント映画にかんするまとまった情報を得るには、Internet Movie Database のような英語サイトから取得する他なかった。その他にも、Internet Movie Database は、中国語学習歴を持つ者にとって検索しやすい点がある。例えばある中国映画の英語タイトルが不明であっても、中国語タイトルのピンイン（アルファベット）を入力すれば、検索結果を得ることができる。中国映画タイトル情報がピンインと英語の両方で登録されている為であり、どちらで検索しても同様の結果を得られるためである。人名を検索する際も、人名のピンインと英語のいずれからも検索結果が求められる。例えば、台湾出身の人気女優で、『君のいた永遠（心動）』（1999）等の作品を監督したシルビア・チャンは、台湾のみならず香港でも活躍している。そのため彼女の名の発音は、中国語の普通話、広東語の最低2つの読みが広く普及しており、これらにさらに英語名が加わる。シルビア・チャンの漢字表記は「張艾嘉」であるが、Internet Movie Database には、いわゆる漢語ピンイン（Aijia Zhang）、台湾で使用されるピンインローマ字（Aijia Chang）、広東語ローマ字（Ngai-kar Cheung）のいずれからも検索可能である。もちろん、英語名 Sylvia Chang から検索する事も当然可能である¹¹。このように、Internet Movie Database では別名情報が多く登録されている為、幅広い表記に柔軟な対応を見せている。

Internet Movie Databaseの情報量が極めて多い事はすでに述べたが、マイナーな映画の情報にかんする情報量は十分とは言えず、情報の更新頻度も安定しているとは言い難い。しかし、前述した2つの中国映画オンライン・データベースと比較すると、Internet Movie Database は比較的新しい情報を網羅的に発信していると言える。

菅原慶乃

Internet Movie Database により提供される情報のうち、主な項目は以下のとおり。

【人物】

氏名、生年月日、出身地、フィルモグラフィー、受賞歴、DVDやビデオの販売状況等

【作品】

監督名、脚本家名、ジャンル、あらすじ、キャストとスタッフ、上映時間、制作国、言語、カラー、サウンド、こぼれ話、受賞歴、ユーザーのコメント等

以下、前節と同様に中国インディペンダント映画作家張元を検索した結果のうち主要なものを記す。

表3：Internet Movie Database の項目「Zhang Yuan」に登録されている主な情報（〔 〕は筆者により加筆）

項 目	登録されている情報
氏名	Yuan Zhang [張元] (I)*
生年月日 (出生地)	October 1963, Nanjing [南京], China
フィルモグラフィー (監督)	Lü cha [『緑茶』] (2003) ... aka Green Tea (International: English title)
	Wo ai ni [『我愛你』] (2003) ... aka I Love You (International: English title)
	Guo nian hui jia [過年回家、邦題『ただいま』] (1999) ... aka Diciassette anni (Italy) ... aka Seventeen Years (International: English title)
	Fengkuang yingyu [瘋狂英語、邦題『クレイジー・イングリッシュ』] (1999) ... aka Crazy English (International: English title)
	Dong gong xi gong [東宮西宮、邦題『イーストパレス・ウェストパレス』] (1996) ... aka Behind the Forbidden City (USA) ... aka East Palace West Palace
	Danske piger viser alt (1996) ... aka Danish Girls Show Everything
	Erzi [兒子] (1996) ... aka Sons
	Guang Chang [広場、邦題『広場』] (1994) ... aka The Square
	Beijing za zhong [北京雜種、邦題『北京バスターズ』] (1993) ... aka Beijing Bastards
	Mama [『媽媽』] (1992) ... aka Mum
Ge zi mi de qi yu [『鴿子迷的奇遇』] (1987) ... aka Adventures of a Pigeon Fancier (International: English title: informal title)	

項 目	登録されている情報
	Zhong Guo 'xiao huang di' [『中国的“小皇帝”』] (1987)
	Huang shan lai de gu niang [『黄山来的姑娘』] (1985) ... aka Girl from Mt. Huangshan (literal English title)
フィルモグラフィー (プロデューサー)	Wo ai ni (2003) (producer) ... aka I Love You (International: English title)
	Dong gong xi gong (1996) (producer) ... aka Behind the Forbidden City (USA) ... aka East Palace West Palace
	Erzi (1996) (producer) ... aka Sons
	Mama (1992) (producer) ... aka Mum
フィルモグラフィー (脚本)	Lü cha (2003) ... aka Green Tea (International: English title)
	Wo ai ni (2003) ... aka I Love You (International: English title)
	Dong gong xi gong (1996) ... aka Behind the Forbidden City (USA) ... aka East Palace West Palace
フィルモグラフィー (俳優)	Wo he ba ba [『我和爸爸』] (2003) ... aka My Father and I (International: English title)
フィルモグラフィー (その他)	Peuple migrateur, Le (2001) (camera operator) ... aka Winged Migration (Canada: English title: festival title) (USA) ... aka Nómadas del viento (Spain) ... aka Nomaden der Lüfte (Germany) ... aka Nomaden der Lüfte - Das Geheimnis der Zugvögel (Germany) ... aka Popolo migratore, II (Italy) ... aka The Travelling Birds (International: English title)
フィルモグラフィー (編集)	Guo nian hui jia (1999) ... aka Diciassette anni (Italy) ... aka Seventeen Years (International: English title)
フィルモグラフィー (カメラ)	Fengkuang yingyu (1999) ... aka Crazy English (International: English title)

* 同姓同名の複数の人物へ対応するため、番号により情報が整理されている。ここで扱う張元はZhang Yuan (I)に登録されている。

フィルモグラフィーの検索結果は、カテゴリー別、年代別、人気別、ジャンル別にソート可能である。また、Power Search機能を用いると、共演者や過去に共に制作したスタッフ名等を検索する事ができる。

さて、張元の検索結果を検証してみたい。まず、張元が制作した映画作品のうち、『看上去很美』

以外のすべてが網羅されており、「中文電影資料庫」における最新情報の不足と、「中国影視資料館」の過去の情報の不足を充分カバーしている結果が得られた。ただし、同音の別人との混同が若干みられる。『鴿子迷的奇遇』、『中国的“小皇帝”』、『黄山来的姑娘』はいずれも張圓（張元とピンインが同じ表記）と于彦夫の監督作品である。この他、オムニバス映画Danske piger viser altの監督としての情報や、カメラ・オペレーターとして参加したとされるLe Peuple migrateur（ジャック・ペラン『WATARIDORI』、2001年）の情報も同音もしくは同姓同名の人物との混同だと思われる。

Internet Movie Database は、その情報量の多さと充実したリンク機能、更新頻度の高さから高く評価すべきオンライン・データベースである。それは、表に見られる別名の登録の多さや、ピンインローマ字表記の正確さに示されている。英語もしくはピンインの情報を漢字に改める作業は繁雑で、時には紙媒体のデータブックを用いて検索結果を整える必要がある。しかし、このデータベースの情報量の多さと正確さは、それでもなお多くの利点を提供している。

3 その他のオンライン・データベース

ここでは、本稿で詳細を検討する事ができなかったその他の主なオンライン・データベースを紹介する。

香港影庫（繁体字中国語（試用中）、英語）2005年11月20日現在サイト休止中
<http://hkmdb.com/>

もともと英語で運営されていたため、中国語で検索しても結果が英語で表示される事が多い。詳細なデータを取得するためには、メールで登録用紙を入手し、会員登録をしなければならない。

台湾電影資料庫（繁体字中国語）
<http://cinema.nccu.edu.tw/cinemaV2/>

国立政治大学の慮非易が主催する「電影資料庫小組」の研究成果。1949年以降の台湾映画のデータをオンラインで検索・閲覧できる。映画以外にも、年表や各種統計類の閲覧が可能。

新浪網「電影宝库」（簡体字中国語）
<http://ent.sina.com.cn/film/>

中国で最も知名度のあるポータルサイトの一つ「新浪網 sina.com」が提供するコンテンツの一つで、映画情報を専門に発信する。特に新作映画にかんする情報には役立つ。

4 おわりに

以上の考察から、それぞれのオンライン・データベースには利点と欠点の双方が混在している事が明らかとなった。故に、一つのデータベースに過剰に依存する事を避け、複数のオンライン・データベースの情報を比較する事で、不正確な情報を排除し、同時に情報の不足を補う事が、オンライン・データベースを有効に利用する方法であると結論づけられる。

さらに、多くのオンライン・データベースがユーザー参加方式を採用しており、ユーザーからの情報がサイト運営に重大な影響を与える点は、無視できないだろう。したがって、オンライン・データベースを利用する際は、単なる一利用者としてではなく、サイト運営に参加する意識を持つことが求められる。不正確な情報や不足している情報は、ユーザー一人一人が頻繁に修正・更新していく事で、データベースそのものの価値も保障される。オンライン・データベースのコンテンツの充実は、ユーザーであるわれわれ自身の手により、積極的に構築していくものであると言える。

〈注〉

- 1 原題は『中国電影發展史』。1963年に北京電影出版社から刊行された。その後、1980年に同じ出版社から再版された。『中国電影發展史』が文化大革命中に批判を受けた事は、佐藤忠男・刈間文俊『上海キネマポート』（凱風社、1985年）323ページに詳しい。
- 2 現在、1905～1930年編（1996年発行）、1931～1949年編（2001年発行）、1949.10月～1976年編（2001年発行）、1977～1994年編（1996年発行）が出版されている。
- 3 「体制外映画」は、「地下電影」（アンダーグラウンド映画）と呼ばれる事もある。
- 4 1990年代に現れた中国のインディペンダント映画の詳細については、拙稿「映画の自立と自由を求めて－中国のインディペンダント映画について」『言語文化』第8巻第1号（同志社大学言語文化学会、2005年8月）を参照されたい。この論考では、2004年以降少なくない中国インディペンダント映画が上映されずともDVD等の形態で発行されるようになった契機である「1113会議」にも触れている。
- 5 「中文電影資料庫」によれば、ここで言う「華語」には、標準中国語である「普通話」と各方言が含まれる。一般に、東アジア中華圏の映画を総称する場合は「華語電影」、「中文電影」という言葉が使用され、「中国電影」は特に中華人民共和国の映画のみを指す事が多い。ただし、文革後初期に東アジア中華圏映画を包括的に論じていた林年同は「中国電影」という言葉で東アジア中華圏映画を論じていた。1999年、香港バプテスト大学の葉月瑜により、東南アジア漢語圏や世界各国の華人世界も含む「華語電影」よりも、中国・台湾・香港・マカオの映画を中心とする「中文電影」の使用が適切だと提唱されたが、現在にいたるまで、「華語電影」と「中文電影」は併用される場合が多い。
- 6 2005年11月20日現在、「中文電影資料庫」のトップページに「周伝基影視講座：跟我学」ディレクトリへのリンクが掲載されていない。この「講座」のURLは次の通り。<http://dianying.com/zhou/>。なお、この講座には簡体字版と繁体字版があり、おおよその構成は同じものの、内容にかんしては両者の情報量は大幅に異なる。2000年、簡体字版と繁体字版を統合し、新項目を多数加えた新サイト「周伝基教授影視講座」（<http://www.zhouchuanji.com/>）が運営を開始した。しかしその後も「中文電影資料庫」内の「周伝基影視講座：跟我学」は運営を続けており、簡体字版と繁体字版、新サイト間の情報の差異は依然として存在している。
- 7 「中文電影資料庫」のサイト説明「關於本站」においても、簡体字版の使用を勧めている。
- 8 少なくとも呉文光を除く中国インディペンダント映画の監督たちの多くは、体制の外で映画を制作する事に特別のこだわりを持っているのではない。張元は確かに、初期はインディペンダント作品を複数制作していたが、王小帥、何健軍（何一）、管虎、賈樟柯を始めとする他のインディペンダント映画作家と同様に、近年は「体制内」での制作も多い。詳細は注4に掲げた拙稿を参照されたい。
- 9 古くからなじみのある外国の映画や人名の中国語表記については、外国映画に関する書籍等を参照する事で調べる事が可能であるが、ごく最近話題となっている外国の映画や人名の中国語の漢字表記を調べる場合、情報の入手は困難であった。しかし、ウェブ上のデータベースが普及した事により、必要がある度に大量の娯楽雑誌を繰る煩雑さが大幅に解消されている。
- 10 香港の初期映画『盜燒鴨』（1909）の情報は無い。
- 11 東アジア中華圏の俳優名の表記は、日本語のカタカナ表記と漢字、簡体字中国語・繁体字中国語の漢字表記とピンインローマ字表記、英語と多岐にわたるうえ、広東語ローマ字表記、台湾でのローマ字表記には複数の方法が

菅原慶乃

存在し、必ずしも統一されていない。次のサイトは、各表記をまとめて参照できるため、便利である。亜州明星
総覧 Encyclopedia Aisan Stars、<http://homepage3.nifty.com/asiastar/>

〈参考文献〉

「“新世代” 電影研究」『北京電影学院学報』1995年第1期

「關於“地下電影”的缺席對話」『演芸圈』1999年第7期、総68期